

令和2年度

# 教育行政執行方針

令和2年3月

白老町教育委員会

---

---

---

# 教育行政執行方針

□	はじめに	1
□	学校教育の充実	2
1	社会で生きる力の育成	2
2	豊かな心と健やかな体の育成	4
3	信頼される学校づくりの推進	7
□	生涯学習の推進	9
1	社会教育活動の充実	9
2	青少年教育の推進	12
□	むすび	13

---

---

---

令和2年白老町議会定例会3月会議にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

## はじめに

今日、我が国では、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、家族形態や地域社会に大きな変化が生じております。また、急速なグローバル化の進展により、第4次産業革命の時代と呼ばれる技術革新が行われ、あらゆるものがインターネットにつながり、ビッグデータやAIが進化し、現在人間が行っている様々な仕事が機械により代替されるなど、社会変化の予測が困難な時代を迎えています。

こうした変化の激しい社会を生き抜くためには、自立した人間として主体的に判断し、多様な人々と協働しながら課題を解決する人材の育成が求められております。

そのため学校教育においては、学習指導要領の改訂等を通して、子供たちが未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むとともに、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、「社会に開かれた教育課程」の実現を図ることが重要となっております。さらに教職員の働き方改革を含め、新しい時代にふさわしい学校の指導体制を構築するとともに、安全・安心で質の高い教育環境を整備することも喫緊の課題となっております。

また、生涯学習においては、人生100年時代の到来を見据え、町民の皆さんが主体的に学び続け、その学びの成果を享受

---

---

するとともに、培った能力や知識・経験を活用して、様々な活動に取り組みながら、さらに学びを深めたり新たな学びにつなげたりする循環型学習の構築が重要であります。

教育委員会といたしましては、これらの様々な教育課題の解決に加え、間近に迫った民族共生象徴空間（ウポポイ）の開設は、新たな白老の教育の始まりであるとの強い思いをもって

**「ふるさとに誇りを持ち、多様性を尊重し、次代を主体的に切り拓く人づくり」**を目標に掲げ、子供たちや町民の皆さんの学びの充実に取り組んでまいります。

以下、学校教育、生涯学習の順に、令和2年度における主な施策について申し上げます。

## **学校教育の充実**

はじめに、学校教育について申し上げます。

### **1 社会で生きる力の育成**

社会で生きる力の育成についてであります。

#### **□ 新たな時代に対応した教育**

**学力向上**につきましては、3年間取り組んでまいりました第2期「白老町スタンダード」の成果と課題を踏まえて第3期計画を策定し、全校で確かな学力の定着を図ってまいります。授業の充実につきましては、秋田県能代市と連携した研修を引き

---

続き実施するとともに、派遣教師を中心とした校内研修の活性化や町全体の学力向上対策に取り組むほか、全小中学校に学習支援員を1名ずつ配置し、学び直しの機会の充実や個に応じた指導を行ってまいります。探究型授業の定着につきましては、北海道教育委員会による授業改善推進チーム事業を活用し、苫小牧市との実践交流を行いながら、本町の授業改善を加速させてまいります。

また、公費による学力調査や小学校での漢字検定、中学校での英語検定や北海道栄高校の協力を得て白老寺子屋を実施し、学習意欲の向上を図ります。

I C T教育の充実につきましては、小学校では人型ロボット Pepper を活用し、論理的な思考を育成するプログラミング教育を推進するとともに、中学校に導入したタブレットを活用し、目的に応じて必要な情報を活用する能力を育成してまいります。

新学習指導要領で新設された小学校高学年の外国語科、中学年の外国語活動につきましては、A L Tの派遣回数を増やしてまいります。

さらに、小中学校の連携を強化し、義務教育9年間の切れ目のない学びを推進するとともに、小規模校におきましては、集合学習やインターネット環境を活用した遠隔授業を実施するなど、多様な学習の機会を保障いたします。

## □ 特別支援教育の充実

**特別支援教育の充実**につきましては、インクルーシブ教育の理念を踏まえ、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」

---

---

の作成・活用を推進し、学校全体で特別支援教育に取り組む体制を構築してまいります。また、関係機関との情報共有や連携強化を図りながら、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を充実させてまいります。

さらに、小中学校での一貫した支援を実施するため、中学校において通級指導教室の開設準備を進めるとともに、引き続き支援員を配置いたします。

#### □ 郷土への愛着や誇りを育む教育活動

**郷土への愛着や誇りを育む教育活動**につきましては、地域の自然や文化・歴史を大切にしながらふるさとへの愛着をもち、夢の実現に向かって努力できる子供の育成に向けて、「ふるさと学習」の実践を発展させた「白老未来学」を新設いたします。今年度は特に、小学校社会科副読本の改訂やウポポイの活用を図ってまいります。

さらに、土曜授業「ふれあいふるさとDay」を年2回、全ての小中学校で実施し、地域の方々と連携した教育活動を展開しながら、ふるさと白老への愛着を育ててまいります。

## 2 豊かな心と健やかな体の育成

次に、豊かな心と健やかな体の育成についてであります。

#### □ 道徳教育の充実

**道徳教育の充実**につきましては、校長の方針のもと、道徳教

---

---

育推進教師を中心に全教師が協力し、その要となる「特別の教科 道徳」の実践に取り組んでまいります。

また、校内研修や北海道教育委員会が主催する研修会への参加を通して指導力の向上を図り、児童生徒が主体的に道徳的価値について学ぶ「考え、議論する道徳」の授業を充実させてまいります。

さらに、キャリア教育やボランティア活動、福祉学習など、地域社会とのかかわりを通して、地域を支え互いを認め合う共生の心と自立する力を育てまいります。

#### □ 生徒指導の充実

**生徒指導の充実**につきましては、いじめは人間として絶対に許されない行為であるという認識のもと「白老町いじめ防止基本方針」に従い、未然防止と早期発見、早期解消を図るため、アンケート調査やネットパトロールなどによる実態把握と日常的な指導を行い、関係機関等と密接に連携しながら、いじめを生まない教育の土壌づくりに努めてまいります。

また、不登校への対応につきましては、日常の支援を行う教育支援センター指導員や家庭と学校をつなぐスクールソーシャルワーカーを中心として、スクールカウンセラーや関係機関との連携を通して相談体制を充実させ、子供を取り巻く環境の改善と心の成長を支援してまいります。

#### □ 健やかな体の育成

**健やかな体の育成**につきましては、全国体力・運動能力、運

---

動習慣等調査から各学校において体力向上プランを改善し、体育の授業の充実や部活動の奨励、一校一実践の体力づくりに努めてまいります。

また、電子メディアの使用につきましては、実態を把握し、望ましい関わり方について関係機関と連携しながら子供や保護者に向けた啓発活動を実施してまいります。さらに、胃がん予防につきましては、中学校2年生を対象にピロリ菌検査を行うとともに、食育につきましては、「子供が作るお弁当の日」を年2回設定し、発達段階に応じたお弁当作りを通して、家族への感謝の気持ちや食生活への関心を高めてまいります。

そのほかにかん教育、薬物乱用防止教室、性に関する指導を継続し、健やかな体の育成を図ってまいります。

#### □ しらおい食育防災センター（パクパクしらおい）

**しらおい食育防災センター**につきましては、衛生管理を徹底し安全・安心な給食を提供するとともに、栄養バランスのとれた給食により、児童生徒の健やかな心身の育成に努めてまいります。「ふるさと教育」につきましては、ウポポイ開設を記念したアイヌ伝統料理や地場産品を活用した郷土給食などを提供するほか、児童生徒が選んだ献立の一部を「リクエスト給食」として、食への興味・関心を高め食育を推進してまいります。

なお「リクエスト給食」について実施した10食分については、無償化とし保護者の負担を軽減してまいります。

また、アレルギー対応給食につきましては、保護者との面談、学校・関係機関との連携強化、調理員の資質を向上し、事故防

---

---

止の徹底と安全を確保してまいります。

さらに、児童生徒を対象とした施設見学、食育学習、パクパク探検ツアーや職業体験の実施、試食会及び防災関連事業など、多くの町民に親しまれる施設としてその活用を図るとともに、非常時への対応の取組みも充実させてまいります。

### 3 信頼される学校づくりの推進

次に、信頼される学校づくりの推進についてであります。

#### □ 学びをつなぐ学校づくり

**学びをつなぐ学校づくり**につきましては、各中学校区に学校運営協議会を設置し（コミュニティ・スクール）、保護者、地域住民の学校運営への参画を図るとともに、地域学校協働本部と連携して地域の人材や教育資源を生かした教育活動を展開することで地域ぐるみで子供の成長を支える体制を充実させてまいります。

また、スタートカリキュラムをもとにした幼保小の連携、ふるさと教育を中心とした小中高の連携などを通して、学びの連続性に取り組んでまいります。

#### □ 安全・安心な学校づくり

**安全・安心な学校づくり**につきましては、危機管理マニュアル、食物アレルギー対応マニュアル等の点検と見直しを図り、学校全体での危機管理体制の再確認や、関係機関と連携した安

---

---

全点検を行い、事故の未然防止や減災に努めてまいります。また、交通安全教室、防犯教室や一日防災学校等を実施し、児童生徒自ら危険を回避する力を育成してまいります。

さらに、教職員を対象にしてAEDの使用方法等の研修会を行い、非常時に対応した学校における救命救急体制を構築してまいります。

### □ 教育環境の整備等

**教育環境の整備等**につきましては、教職員が子供たちと向き合う時間を確保し、教育の質を高めるために、「白老町アクションプラン」を継続的に見直すことで、働き方改革を推進してまいります。

特に、教職員の時間外勤務の縮減が喫緊の課題であることから、教育に関する情報の一元化に向けて校務支援システムを活用し、業務にかかる負担を軽減してまいります。

施設が老朽化していた教育支援センターにつきましては、児童生徒が安全・安心に利用することができるよう白老町コミュニティセンターへ移転いたします。

適正規模を含めた望ましい教育環境の在り方につきましては、引き続き検討してまいります。

---

---

## 生涯学習の推進

次に、生涯学習の推進について申し上げます。

### 1 社会教育活動の充実

はじめに、社会教育活動の充実についてであります。

#### □ 社会教育事業の推進

**社会教育事業の推進**につきましては、ウポポイの開設を間近に控え、ふるさと白老に誇りと愛着を持ちながら、地域活動に積極的に取り組む人材の育成が必要であります。そのため、地域課題や町民の学習ニーズを捉えた公民館講座を開設し、社会教育事業の充実と活性化に取り組んでまいります。

また、主体的なまちづくり活動を推進するため、みんなの基金や各種大会派遣等への助成を継続して行ってまいります。

さらに、**成人教育の推進**につきましては、女性団体や青年団体における構成員数の減少や役員の担い手不足などの課題に対応するため、講座や研修会への支援を行ってまいります。

**高齢者教育の充実**につきましては、高齢者大学での活動を中心として講座を充実させることにより、高齢化社会を豊かに生きる環境を整備してまいります。

また、高齢者が身につけた知識や技術、経験を伝え・学ぶ機会として、小中学生及び高校生との交流を推進してまいります。

---

---

## □ 芸術文化活動の推進

**芸術文化活動の推進**につきましては、本年55回目を迎える白老町文化祭をはじめ、本町の優れた芸術文化の振興を図るため、白老町文化団体連絡協議会やNPO法人しらおい創造空間「蔵」など社会教育関係団体と協働し、活動を活性化させ、町民の心の豊かさを育んでまいります。

また、アイヌ文化伝承者等との交流を促進し、新たな地域文化の創造に取り組んでまいります。

## □ 文化財の保存・活用

**文化財の保存**につきましては、ウポポイの関連区域である白老仙台藩陣屋跡への来場者の増加に備え、周辺の案内看板などを更新し、史跡の環境を整えてまいります。また、整備事業につきましては、早急に保存活用計画を立案し、その後、整備基本構想及び整備基本計画に着手してまいります。

**文化財の活用**につきましては、新たにポスターの作成やリーフレットの改訂を行い、広報活動の拡充に努めるとともに、ボランティア解説員の育成や多言語音声ガイドシステムの利用により、多くの来場者に対応する受け入れ体制を整えてまいります。

また、資料館を町民の学びの場とする取組といたしましては、「北海道現代刀工展」、「木彫り熊展」などの企画展をはじめ、「陣屋の日」などの体験プログラムやふるさと再発見講座事業を通して、本町の歴史や文化にふれる機会を充実させ、地域の文化財として、興味関心を高めてまいります。

---

---

---

---

## □ 読書環境の整備

**読書環境の整備**につきましては、「第四次白老町子供の読書活動推進計画」に基づき、ブックスタート事業や、学校と地域ボランティアとの連携による家読の推進を引き続き取り組んでまいります。

町民が本とふれあう機会の充実につきましては、移動図書館事業の継続や、北海道教育委員会が定める「ノーゲームデー」の日に、本を活用した親子を対象とする体験型のイベントを開催してまいります。

アイヌ文化に対する理解と興味、関心を高める取組みとしては、ウポポイの開設と連動したアイヌ関連図書や郷土資料の展示コーナーを一層充実させてまいります。

また、学校図書館による読書活動を充実させるため、子供と本をつなぐ司書教諭や学校司書の業務に対して、積極的に支援してまいります。

## □ 健康づくり・スポーツの振興、施設の運営

**健康づくり**につきましては、総合体育館トレーニング室の利用が増加傾向にあることから、各種講座や教室を開催し健康志向の高まりに対応してまいります。

また、**スポーツの振興**につきましては、スポーツ推進委員会と連携を図りながら、軽スポーツの普及啓発を行うとともに、健康マラソン・ファミリーウォーキングなど、引き続き各種スポーツ大会の支援を行ってまいります。

なお、黒獅子旗獲得記念北海道中学校軟式野球大会につつま

---

しては、町内中学校において野球部員が減少していることから、今後の大会運営を検討してまいります。

**スポーツ施設**につきましては、指定管理者と協議を行いながら、利用の促進を図るため、円滑な運営とニーズに対応した自主事業を行ってまいります。また、総合体育館についてはLED化、変圧器・高圧電源ケーブル改修、町民温水プールについては玄関の屋上防水、ボイラー配管取り替え等を順次修繕してまいります。

## 2 青少年教育の推進

次に、青少年教育の推進についてであります。

### □ 青少年健全育成・青少年教育の推進

**青少年の健全育成**につきましては、子供たちの健やかな成長を見守るため、青少年育成町民の会を中心に関係団体と連携し、社明運動、育成大会や懇話会等の主要事業に対する支援を引き続き実施してまいります。

また、電子メディアとの接し方について、子供たちが抱える現状や課題を保護者や地域住民に理解してもらい、地域全体で子供たちを守り育てる機運を高めるため、研修会や講座開設に取り組んでまいります。

さらに、**青少年教育の推進**につきましては、豊かな心と体を育む体験イベントを開催するほか、国際姉妹都市を結んでいるケネル市の青少年との交流を通して、若い力が躍動する地域づ

---

くりに取り組んでまいります。

### □「しらおい子ども憲章～ウレシパ(育ち合う)」の推進

「しらおい子ども憲章」の推進につきましては、各校の代表者を子ども憲章推進委員に委嘱し、憲章の具現化を図る「子ども夢予算づくり事業」を活用した取組みを継続し、保護者や地域住民が子供たちの活動を広く理解するための実践発表会を行ってまいります。

さらに、中学校においては、プロフェッショナル講演会を引き続き開催し、生徒たちが将来の目標や生き方を考えるキャリア教育を充実させてまいります。

## むすび

以上、令和2年度の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

白老町が人口減少、少子高齢化や価値観の多様化など、時代の大きな転換期に対応し、第6次白老町総合計画のまちの将来像である「共に築く希望の未来 しあわせを感じる元気まち」を実現するためには、人づくりの基盤となる教育行政の役割は重要であります。

教育委員会といたしましては、学校・家庭・地域や関係団体、町長部局と連携して、生涯にわたり町民一人ひとりの学びを推進し、「ふるさとに誇りを持ち、多様性を尊重し、次代を主体的に切り拓く人づくり」に取り組んでまいります。

---

町民の皆様、並びに、町議会議員の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げ、令和2年度教育行政執行方針といたします。





多文化共生のまち、しらおい

◇ 北海道 白老町 ◇